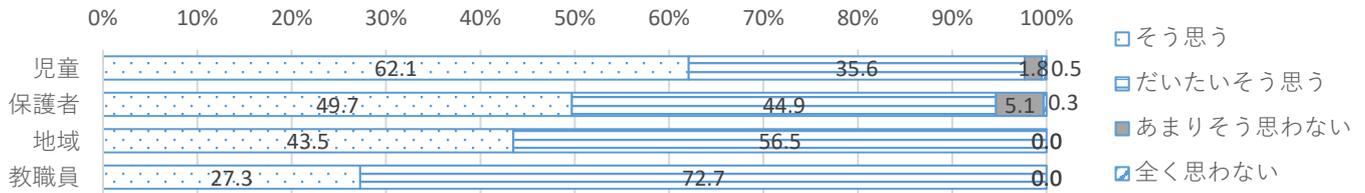


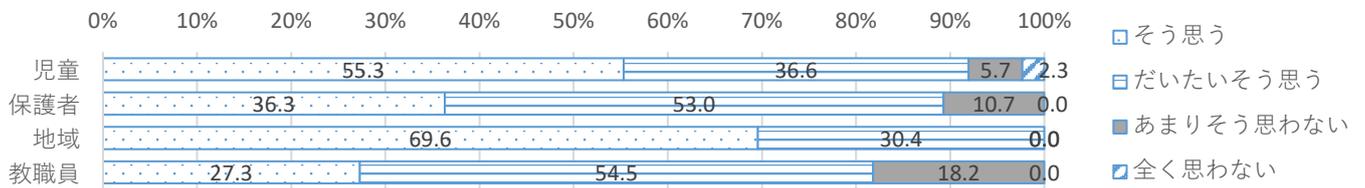
1 みんなとつながろう

① 友達と仲良くしていますか。



児童の97%、保護者の94%以上、地域・教職員の100%が肯定的な評価をしていました。加茂小の児童は、概ねみんなと仲良くしていると言えます。四者協働の取組が児童の変容につながっていることが分かります。一方、相手の立場に立って考えることができず、相手を傷つける言動をとってしまったりする児童もまだ見られることから、主に道徳や学級活動の時間を活用し、家庭とも連携しながら「心の教育」をさらに充実させていきます。

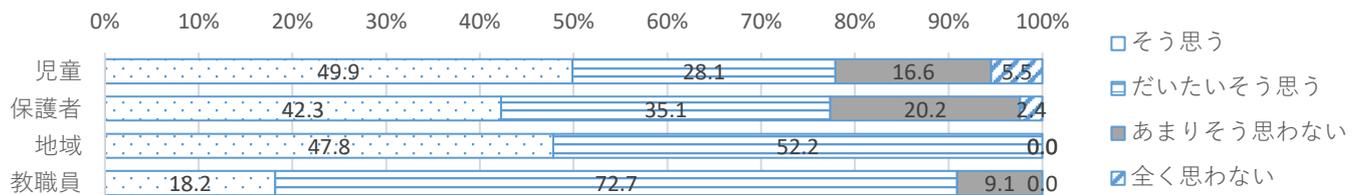
② しっかり挨拶をしていますか。



教職員以外は90%程度以上が肯定的な評価をしていました。加茂小の児童は、概ねしっかりと挨拶ができていると言えます。教職員の評価が若干低いのは、「自ら進んで」と「地域における」という点でまだ不十分であるという理由からです。今後の課題と言えます。

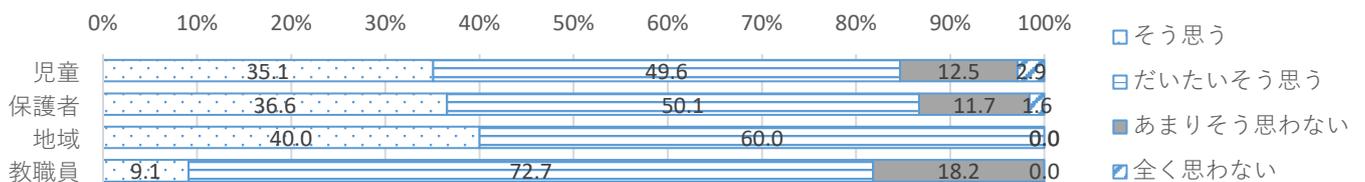
2 健康な体をつくろう

③ 進んで運動をしていますか。



教職員、地域は概ね肯定的な評価ですが、児童と家庭で否定的な評価は20%を越えていました。これは、「Wedなわとび」や「加茂三種」など、通年運動の取組やクラス全員で遊ぶ企画などを取り入れて、外遊びを奨励したりすることが定着し、一定の成果は出ている一方、帰宅後ゲームで遊ぶことが多い児童や運動遊びを敬遠しがちな児童もいるなど、個人差（家庭差）が大きいことが理由として考えられます。今後も学校と家庭が連携して、外遊びを奨励するなどの取組を進めていきます。

④ 規則正しい生活をしていますか。



いずれも80%以上が肯定的な評価をしています。個人差はあるものの、多くの児童が基本的な生活習慣が身に付いていると言えます。しかし、昨年度と比較して肯定的な評価の数値が若干下がったのは、テレビ・ゲーム・スマホ・タブレット等のメディアとのかかわりが要因の一つと考えられます。今後も「早寝・早起き・朝ごはん」やメディアとのかかわりについてのきまりづくりの啓発を進めていきます。

